



クリスマスに
マリアをテーマとした
古今の歌を楽しむ



竹中勇人



エマニュエル・ヌヴェー



クリストファー・ハーディ

朴葵姫

黒田博

林美智子

山田武彦

松井咲子

マリア、現る!

12/21(金) 19:00開演・22(土) 16:00開演

毎年恒例の紀尾井ホール クリスマスコンサート。

今年からの3年間は「歌うクリスマス」と題し、クリスマスにちなんだ歌の世界をお届けいたします。

第1弾はイエスの母、マリアをテーマに、
タイトルや歌詞にマリアが登場する古今東西の名曲をご紹介します。

オペラ・アリアから ミュージカル、ポップスまで

マリアが登場する歌は数多くありますが、キリスト教と深い関わりを持つクラシック音楽、とりわけオペラ・アリアには多くのマリアが登場します。名作オペラ、ブッチーニ作曲歌劇「トスカ」の〈歌に生き、愛に生き〉もそのひとつです。捕らわれた恋人の釈放と引き換えに、悪徳警官から理不尽な要求を突き付けられた主人公のトスカがマリア像の前で胸のうちを切々と歌うこの場面は聴く者の心を捉えてやみません。

今年生誕100年を迎えたバーンスライン作曲の「ウエスト・サイド・ストーリー」では、主人公のトニーがヒロインのマリアにひと目惚れするシーンで甘美に歌われる〈マリア〉をはじめ、〈サム・ウェンとヘトウナイト〉を同じく、マリアという名の登場人物が活躍する「サウンド・オブ・ミュージック」より〈エーデルワイス〉や〈ドレミの歌〉をはじめとした、名曲の数々をメドレーでお聴きいただけます。20世紀最大の世界的スターと言われるザ・ビートルズメンバーのポール・マッカートニー作詞・作曲で、今も愛唱される「レット・イット・ビー」は、歌詞の中にマリアが現れます。そして、マリアは日本の歌謡曲にも登場します。昨年末の紅白歌合戦でも歌われた「五番街のマリーへ」、サスペンスドラマのエンディング曲としてもヒットした

「聖母たちのララバイ」を、紀尾井オリジナルアレンジでお楽しみいただけます。

多彩な アーティストたちの共演

今回の公演では、クラシック音楽界を代表するメゾ・ソプラノの林美智子とバリオンの黒田博の両スター歌手をはじめ、曲目のアレンジとピアノ演奏で多才ぶりを発揮する山田武彦、若手ギタリスト注目度No.1の朴葵姫、在京オーケストラのメンバーとして活躍するヴァイオリンの竹中勇人とクワリネットのエマニュエル・ヌヴェー、多くのアーティストから信頼の厚い打楽器演奏のスペシャリストクリストファー・ハーディら腕まぎのアーティストが出演します。そして音楽大学出身のAKB48メンバーとして活動後、現在テレビ、ラジオの音楽番組でナビゲーターをつとめる松井咲子が司会で登場します。ヨーロッパ諸国はもちろん、アメリカや日本に現れる「マリア」の名曲を、多彩なアーティストたちとの共演でお楽しみください。

ホテルニューオータニ
SATSUMI
クリスマス
特別ディナープラン



12/22(土)のみ 限定30席
料金:各券種+6,000円(税付込)